

# 第1号議案 平成30年度事業報告の件

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 【事業概要】

平成30年度は、八王子市民活動協議会(以下:協議会)が2年毎に行っている理事改選の年であり、執行部も大幅に入れ替わりました。新体制で、これまで評価された部分はそのまま継続し、課題部分は改善し、より一層地域における個人や団体の活動を支援する協議会となるためにあらたな挑戦をする年ともなりました。

理事会においては、理事の役割、理事会の在り方をあらためて議論し、改善できることから取り組みました。理事会内では、新規事業の検討も積極的に行いました。ある地区の再開発にともなう事業に地域活動、協働の拠点づくりができないか、など具体的な事例を想定して、理事研修会でも検討しました。

また、2年後に近づいた指定管理者の受託更新を見据え、支援センター事業検討プロジェクトを設置し、従来の企画運営会議と一緒に検討に入りました。前半は外部からも識者をむかえ、現状の把握、課題出しの議論が進みました。

八王子市から指定管理者として管理運営している八王子市市民活動支援センター(以下:支援センター)については、八王子市の指導の下、センター長以下スタッフにより良好な運営を実施しています。常に市民目線で使いやすい支援センターを目指しています。支援センター事業についての詳細は後掲いたします。

協議会の自主事業としては、総務部、広報部、交流推進部、地域ネット部、政策研究企画部、市委託の「はちおうじ志民塾」、その他プロジェクトから構成されています。

今年度の総務部の事業としては、新年交流パーティー、西武信用金庫まちづくり助成金一次審査窓口、東京都が運営する「女性・若者・シニア創業サポート」事業の窓口業務とアドバイザー業務です。H30年度は融資受付件数も増え、ハンズオン支援件数も増えました

広報部は年6回の広報誌「協議会だより」の発行と、ホームページ管理を行いました。

交流推進部は、既にお馴染みになった「お父さんお帰りのパーティー」をはじめ、いちよう祭り「わくわく広場」「井戸端会議」を担当しています。東部地区、中央地区と年2回開催している「お父さんお帰りのパーティー」(略称:オトパ)は、各マスコミや各地自治体からも取材や視察がくる八王子名物ともいえるイベントとなりました。平成30年度も9月に南大沢文化会館で、3月に労政会館で多数の参加者を得て開催しました。いちよう祭りでのF会場「わくわく広場」の開設とともに、それぞれ実行委員会方式で運営されていますが、その主体団体として参画しています。

地域ネット部は数年にわたって整備してきた「生き生きハンドブック」データの更新を担当しました。また、地域をネットワークで結ぶ役割を担っています。30年度は「共生社会」をテーマにシンポジウムを開催しています。

政策研究企画部は、協議会の組織内シンクタンクの機能を期待された協議会の要的部門です。30年度は支援センターの指定管理者更新を見据え、近隣地区の支援センター視察などを行いました。また、理事研修会の企画も担当しています。

平成25年度から企画運営を受託している「はちおうじ志民塾」は協議会のネットワークを活かし、第10期に当たる30年度講座を開催し、受講生21名という多人数の参加者を得て無事終了することが出来ました。

各部の報告の詳細は後掲します。

協議会としての諸々の課題はありますが、これらの課題の一つずつ堅実に対応してきた1年だったと思います。

## 【1】協議会活動の全体総括

### 1. 理事会

- ①基本的に1回/月理事会を開催しています。可能な限り議事案および関連資料を事前にグループウェアのサイボウズにアップし、理事全員に目を通していただくことを前提とし、会議の効率化を図っています。
- ②8月には将来の受託事業の候補である「長房地区まちづくりプロジェクト」への取り組みの検討を行いました。3グループに分かれ市民交流拠点のあるべき姿についてアイデア出しを行い検討しました。長房地区まちづくりプロジェクトは2020年末完成予定ですので、本年度も継続して関与していきます。

### 2. 三役会

メンバーは理事長、副理事長、事務局長、各専門部会部長、支援センター長計8名で構成しています。基本的に理事会の2週前に開催し、各部門の進捗・問題点、協議会共通事項に関して1次検討を行い、理事会に提案としています。

### 3. 企画運営会議の開催

原則として四半期毎に1回開催の会議であり、会議の目的は、支援センター四半期毎の活動報告並びに事業運営に関する事項を、指定管理者である八王子市民活動協議会(以下協議会)と協議、意見交換し支援センターの適正な運営やサービス機能向上を図ることです。但し、昨年度は臨時の企画運営会議を1月、2月に開催いたしました。

#### 【課題と評価】

企画運営会議における協議会と支援センターとの意見交換等の目的のほかに、昨年度は正副センター長の公募の実施計画を受けて、協議会が行う支援センター管理について多くの時間を費やして協議をいたしました。その結果、協議会、支援センターの運営一体化に向けての意思疎通が密に行われ相互理解が深まりました。

## 【2】支援センター事業

### はじめに

八王子市は平成30年度、「次の100年に向けた、豊かな地域資源を活かしたまちづくり」や「子供を生み育てやすい環境づくり」そして「地域で生涯活躍でき、安全・安心に暮らせる環境の確保」などの方針を出すとともに、八王子の魅力を生み出すべく、ブランドメッセージも市民の総選挙で選ばれました。こうした動きの成果は行政だけでは生み出せません。市民や多様な市民活動団体の地域課題への取り組みがあって初めて生み出されるものと考えています。今年度も、様々なセクターが補完、連携しながら、シンポジウムの開催や地域を包括的に支える仕組みへの取り組みがなされ、その目指す社会、地域づくりを進める動きがありました。

こうした中、八王子市民活動支援センターは、社会貢献、地域活動の担い手である市民の方々の地域参加のきっかけづくりや、市民活動団体の、特に基盤強化や信頼性、継続性をサポートする事業を具体的な計画に基づいて実施してきました。これらの実績を基に、今後とも市民力、地域力向上に資すべく多様なニーズに応える事業を推進してまいります。

### 1. センター会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフが一同に会したセンター会議を開催しました。会議の目的は支援センターの利用状況確認、各部活動報告及び予算執行状況の確認とともに業務全体及び各部門の課題や取り組みについて検討・意見交換を行い、課題の共有化、解決策の検討等です。

さらに、部門間の連携を深め、支援センターの総合力を高めるため、毎月、部長会を開催するとともに、多様な視点を取り入れた会議としました。

### **【課題と評価】**

常勤、非常勤混在の勤務体制のため、スタッフ同士の連携、情報共有は不可欠で、会議内容が報告や確認が多くなるのを避けるため、事前に資料を配布し、貴重な時間をできるだけ討議を通じて、ニーズに対応したサービス向上やセンタースタッフのレベルアップに役立てることを心掛けました。

## **2. NPOの基盤強化支援の充実**

団体の基盤強化や信頼性の向上による市民活動の活性化、社会的認知の向上など、その自立支援のため、団体運営の基本(ミッションの明確化、運営、情報発信、会計)等、実務的内容で「NPOパワーアップ講座」を実施しました。また、ファンド事業では引き続き情報開示を基本的条件として、寄贈を受けた物品を無償提供し、団体の資金負担軽減をサポートすることができました。さらに、団体運営の伴走支援として、ノウハウやスキルを生かして地域参加、社会貢献を考えている人材とサポートを希望する団体とのマッチング事業である「人財支援事業」では、東京都保健局主催の「東京ホームタウンプロジェクト・プロボノ1day チャレンジ」に2団体の協力を得て参加することができました。

### **【課題と評価】**

「NPOパワーアップ講座」は、今回、団体が見失いがちなビジョン、ミッションについて改めて考える講座を取り入れ活動の原点を見つめなおしてもらいました。今回は、支援センタースタッフも全員参加し、支援センター事業のビジョン、ミッションを再確認・共有する機会とすることが出来ました。また、「人財支援事業」はさらなる「人財」の登録促進と、支援メニューの開発が課題となっています。

## **3. 調査研究活動**

市民活動に関する多様な相談に対応すると共に、効果的なサービスを提供するためには社会環境の課題やNPO、市民活動の実態把握が大変重要であり、スタッフが外部イベントや講習会等へ参加しスタッフのレベルアップに努めました。また、今年度も利用満足度調査を実施するとともに、企業の社会貢献活動(寄付への視点、社員の地域参加等)についての意向調査を目的に、民間企業約50社にアンケートを実施しました。

### **【課題と評価】**

利用満足度調査の結果は、引き続き「満足」、「やや満足」で97.6%の評価を頂きました。その他、「会議室はもっと広いスペースが欲しい」、「会議室の椅子はもっと座り心地が良いものにして欲しい」等の要望もありましたが、予算措置のこともあり、八王子市との協議も含め今後検討したい。企業へのアンケート調査は、回収率が24%と十分ではありませんでしたが、市民活動の透明性が引き続き求められていること、企業の地域参加はまだ多くの課題があることを感じさせるものでした。結果を参考に、市民活動と企業との関係構築、連携を促す足掛かりや相談業務にも生かしていきます。

## **4. 情報セキュリティ環境の維持管理**

様々な実施事業をとおして市民や団体から、利用目的を明らかにしてお預かりしている個人情報適切に管理し、紛失、改ざん及び漏えい等の事故を起こさないことは、関係市民、団体との信頼関係の基本であり、また、八王子市の施設として市に準じる情報管理が求められていると認識し、その適切な管理に取り組んでいます。

### **【課題と評価】**

法令や情報セキュリティマニュアルを遵守し、組織内のPDCAを回し、適正な情報管理に努めるとともに、可能な限り八王子市の指定管理者情報セキュリティーガイドラインに沿った管理を情報セキュリティー委員会を開催して進めています。また、平成30年度は、東京都や八王子市の指定管理施設に対するセキュリティーレベルがアップし、マニュアルの見直しやサーバーの変更が必要となりました。

## **5. 八王子市環境マネジメントシステムへの取り組み**

八王子市役所環境マネジメントシステムは、それぞれの組織や事業が環境配慮行動に取り組むということで、引き続き支援センター内でも基本的な環境配慮行動を行うとともに、支援センターの特性である

団体の活動や広報サポートを通して環境マネジメントに取り組みました。

### 【課題と評価】

環境活動に取り組む団体の活動紹介・情報発信をサポートすると共に、多様な団体が、環境の持続的保全を意識し、住み続けたいまちづくりにつながる活動が活性化することが必要と考えています。また、引き続き企業や団体等の未利用の様々な物品を寄贈いただき、市民活動団体にリユースしていただく「資源の有効活用」としてのファンド事業も推進していきます。

## 6. 施設利用状況

交流室 (コマ)	活性化室 (コマ)	フリー スペース (人)	コピー機 (件)	印刷 機(件)	面談 相談 (件)	来所 他(人)	電話 相談	電話 他(件)	メール 相談 (件)
945	787	3, 263	354	261	52	455	20	2, 384	2
968	789	3, 205	483	201	79	965	53	2, 952	7

上段:平成 30 年度、下段:平成 29 年度 \*添付資料参照:「平成 30 年度施設・会議室利用状況報告」

### 【課題と評価】

今年度、フリースペースと事務スペースのレイアウト変更を行い、窓側にフリースペースを配置し、簡単な打合せ、待ち合わせなど多くの方に気軽に利用して頂き好評をいただき利用者も増加しましたが、会議室の利用数が若干減少しました。「来所他」は平成 29 年度では印刷機使用で来所された方も含まれており、今年度カウント方法を変更し印刷機使用人数を除いています。今後ともセンターへの登録や利用促進をさらに図っていきたいと思います。相談は電話等に加え専門相談やファンド部の「人財」による伴走支援に加え、試験的に日時・テーマを設定した相談日を設ける等多様な形で対応しました。

## 7. 「指定管理者制度」モニタリング実施結果

結果は「事業計画の水準を満たしている」という“B”評価でした。評価コメントは高い満足度を維持し、「満足」、「やや満足」が 96.2%を占めるなど、多くの市民、団体に満足度の高いサービスの提供やファンド事業での「人財支援」で具体的な成果を出すとともに、「はちコミねっと」の運営にあたり、団体への操作講習会の実施や団体からの情報発信の確認・承認作業など適切な管理運営に努めたとの内容でした。また、近郊の中間支援施設への訪問から得た知識やノウハウを本市市民活動支援センターにマッチした取組に発展させ、市民活動団体の更なる基盤強化及び活動の活性化につながる取組みへの期待が示されました。

## 8. 総務部の活動

### (1) 相談対応及び専門相談

支援センター業務の大きな柱である相談業務は、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考えのもとスタッフ全員で対応しています。専門相談は NPO 経営支援アドバイザー派遣制度の活用や NPO 法人との提携により、経理、労務、税務等の相談に対応しています。

### 【課題と評価】

面談、電話、メール等による相談内容は、地域を包括的に支える仕組みづくりが求められる中、居場所づくり、子ども食堂、コミュニティカフェなどに取り組もうとする方々からの資金や場所探しに関する相談などがあったことや、引き続き団体法人化の相談も継続しています。窓口相談業務を一步進めた伴走支援事業でもあるファンド事業の「人財」支援も実績を上げており、今後とも相談対応の手法の多様化、スタッフのスキルアップに取り組んでいきます。

### (2) スタッフ外部研修(人材育成)

5月22日認知症サポーター養成講座参加 / 6月26、27日初任者研修参加:日本NPOセンター主催 / 9月19日「第10回共生の街づくりシンポジウム」事前学習会参加 / 10月5日ハラスメント講習会参加 / 10月16日障害者に対する知識、理解を深めるための職員研修出席 / 11月22、23日市民セクター全国会議2018参加 / 11月23、24日ライトハウス「子ども支援セミナーin東京」子どもを性的商品

化から守るに参加

### 【課題と評価】

相談対応やコーディネート力向上、効果的な講座開設を目的に、スタッフのスキルや知識の習得のほか、講座や講師との出会いを積極的に進めました。こうした知見を多様なセンター事業に生かしていきます。

## (3) 対外対応

### 4月度

4月3日 コーユーレンティア(株)来館対応 / 4月7日 創価大学お花見交流カフェ参加 / 4月9日 指定管理者八王子市民活動協議会と意見交換会開催 / 4月13日 H29年度八王子市期末モニタリング対応 / 4月14日 はちおうじ志民塾 OB 会出席 / 4月21日 Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会定例会出席

### 5月度

5月12日 八王子市民活動協議会総会出席 / 5月17日「第6回開け！センター元気」出席(主催:センター元気)出席 / 八王子市土地利用計画課来館対応 / 5月18日 八王子市協働推進課訪問 / 5月19日「あしたの森植樹祭」出席(主催:緑サポート八王子) / 5月22日 認知症サポーター養成講座参加 / コミュニティカフェ「みんなの家」見学

### 6月度

6月8日 地域福祉推進策定委員会出席 / 6月14日 ファルマ 802 防災会議出席 / 6月25日(社福)由木かたくりの会評議委員会出席 / 6月26日、27日 初任者研修会出席 / 6月29日 梶田中学校生徒3名来館対応(職場体験事前訪問)

### 7月度

7月5日 八王子市市民参加推進審議会出席 / 7月10日～12日 梶田中学校生徒3名職場体験対応 / 7月12日 協働推進課訪問打ち合わせ / 7月12日 自主避難訓練実施 / 7月18日 モニタリング対応 / 7月19日 地域参加支援に関する情報連絡会 / 7月20日 八王子市地域福祉推進計画策定委員会地域福祉推進部会出席 / 7月27日 八王子市地域福祉推進計画策定委員会出席 / 7月29日 はちおうじ志民塾プレ講座出席 / 7月29日 八王子市犬目町古民家『暖炉』イベント出席

### 8月度

8月2日 7市・市民活動連絡会出席 / 8月17日 地域福祉推進計画策定委員会地域福祉推進部会出席 / 8月21日 八王子市包括外部監査対応 / 8月22日 大学生インターシップ実習生受け入れ対応 / 8月25日 井戸端サロン出席(八王子市民活動協議会主催) / 8月29日 八王子観光コンベンション協会、熊沢書店訪問

### 9月度

9月8日 はちおうじ志民塾第10期入塾式出席 / 9月11日 鏈水中学校生徒来館対応 / 9月12日 消防設備点検来館対応 / 9月13日 協働推進課打ち合わせ訪問 / 9月13日 八王子地域福祉推進策定委員会地域福祉推進部会出席 / 9月15日 オトパ(南大沢)出展参加 / 9月19日 第10回共助の街づくりシンポジウム事前学習会参加 / 協働推進課打ち合わせ訪問 / ～9月21日 職場体験受け入れ対応(鏈水中学生徒3名) / 9月24日 みんなの居場所「暖炉」第1回ワークショップ参加 / 9月27日 防火対象物点検来館対応 / 9月28日 八王子地域福祉推進計画策定委員会出席

### 10月度

10月5日 ハラスメント講習会出席(八王子市民活動協議会主催) / 10月14日 ボランティア400人の集い参加 / 10月15日 障害者に対する知識、理解を深めるための研修出席(八王子市主催) / 八王子市市民参加推進審議会出席 / 10月18日 八王子市地域福祉推進計画策定委員会地域福祉推進部会出席(社協) / 10月25日 フードバンク八王子「パーティ&パーティ」参加 / 10月30日 協働推進課来館対応

### 11月度

11月8日 802ビル合同防災訓練参加 / 11月14日 八大緑遊会(緑サポート八王子)芋煮会参加 / 11月17日、18日 いちよう祭り参加 / 11月19日 多摩信用金庫本店訪問 / 11月20日

日オリンピック・パラリンピック八王子市推進室来館対応 /11月21日西武信用金庫八王子支店訪問 /11月22日市民参加推進審議会答申手交式出席/~23民セクター全国会議2018出席 /11月23日、24日ライトハウス「子ども支援セミナーin 東京」(子どもを性的商品化から守るには)に参加 /11月23日、29日八王子市土地利用計画課懇談会出席 /11月30日地域福祉推進計画策定委員会出席

## 12月度

12月1日「子どもの未来・大人の責任」フォーラム参加 /12月8日三鷹市市民協働センター開設15周年記念式典出席 /12月14日財政援助団体等監査事務局来館対応 /12月10日(社福)由木かたくりの会評議委員会出席 /12月19日八王子市行財政改革部情報管理課来館対応

## 1月度

1月4日八王子市関係部署、八王子商工会議所、センター元気、八王子ボランティアセンター、西武信金八王子支店訪問 /1月9日薬剤センター訪問 /1月12日第10期志民塾講師派遣 /1月17日モニタリング対応 /1月21日第7回シニアが元気になるフェスティバル出席 /1月22日地域参加支援に関する情報交換会出席 /1月26日八王子市民活動協議会新年交流会出席 /1月30日創価大学岩川ゼミ学生来館対応 /1月31日7市・市民活動連絡会出席

## 2月度

2月1日地域福祉推進計画策定委員会出席 /法政大学多摩シンポジウム×地域交流DAY2018出席 /2月5日前田建設工業(株)ICI総合センター訪問 /日中央大学シンポジウム出席 /2月9日第12回お手玉遊び競技大会出席 /市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2019 /2月16日犬目町「暖炉」ワークショップ出席 /2月20日地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾ステップアップ編出席 /2月20日堀之内地域「オコジュ」の集まり出席

## 3月度

3月18日(社福)由木かたくりの会評議委員会出席 /3月22日「おい展」主催:山崎亮に出席

### 【課題と評価】

支援センターは、スタッフが、来館の方々に必要な対応をすると同時に窓口や電話対応だけでなく、積極的に現場に足を運び、様々な方々や団体との交流により、ネットワークづくりや連携、協働の基礎づくりを進め、コーディネート力向上や支援センター認知度、総合力アップに取り組みます。

## (4)施設内備品の整備

利用者のサービス向上やスタッフ事務の効率化のため各種備品等を購入しました。

### 【課題と評価】

今後とも、予算措置を施しながら、市民や団体の活動の場、交流の場、作業の場としての機能充実に努めるとともに、スタッフ事務の効率化を推進していきます。

## (5)図書・資料の充実

市民活動の情報センターとして様々な書籍、資料を配架し、閲覧、貸し出しを通して活動や研究の参考にしていただいておりますが、今年度も延べ76冊の書籍の購入や寄贈を受け、図書コーナーに配架しました。主な書籍は下記のとおりです。

『ティール組織』 /『NPO・市民活動のための応募ガイド』 /『NPOガイドブック』 /『幸福学』・『共感力』 /万引き依存症 /『まちの子どもソーシャルワーク』 /『BLUE HERAT』 /『NPOガイドブック』 /『マインドフルネス』

### 【課題と評価】

今後とも予算措置を施しながら、ニーズや社会背景に対応した図書・資料をそろえ、市民活動の情報センターとしての機能を果たしていきます。

## 9. 広報部の活動

広報部は、ただ市民活動団体の活動を市民の方々に紹介するだけでなく、社会を取り巻く様々な課題をタイムリーにとらえて、そうした活動の中から市民や多様なセクターが、気付きや連携の糸口を得、まちづくりや地域参加のための市民力、地域力向上に貢献できることも大きなねらいの一つとして広報紙

「Support802」を中心に情報発信を行っています。

### (1) 広報紙 SUPPORT802 について

#### 活動内容

- ・ 84 号、85 号では「学生と地域の関わり」を連続テーマに据え、後編となる 85 号では啓発部との連携で座談会を実施し、それを記事として構成。学生の地域活動に対する本音を引き出すことができました。また、大学コンソーシアム八王子にも全面的に協力をいただき、1つの連携モデルとして形作りました。
- ・ 87 号では「NPO 法 20 年」を特集記事に取り上げ、マクロな視点で市民活動の情勢を発信するとともに、八王子地域の団体が NPO 法について感じている率直な印象を引き出すことを目指しました。
- ・ 88 号、89 号では、団体からの相談をもとに、啓発部の「アクティブ市民塾」と連動する形で記事を構成。アクティブ市民塾に登場する団体を広報紙の特集記事としてまとめ、翌月に実施したアクティブ市民塾に連動する流れをつくりました。

#### 【課題と評価】

- ・ 広報部員全員がそれぞれに出来ることで積極的に役割を担い、部の雰囲気は良好であると考えています。但し、スケジュール調整が難しい場面が多く、サポートスタッフも含めて揃わない中で部会や読み合わせを行わざるを得ない場面が時折ありました。
- ・ 紙面製作上、作業するパソコンによって WORD の原稿の表示が異なるケースがあり、特に画像のレイアウトが大きく崩れる現象が度々見受けられました。WORD のバージョンの違いによるものではないことが確認されており、情報部にもアドバイスを求めたものの、具体的な原因究明には至っていません。

### (2) メールマガジン八王子市市民活動支援センターSUPPORT802 だよりについて

#### 活動内容

掲載内容は、「巻頭言」、「アクティブ市民塾」、「助成金情報」、「イベント情報」、支援センター、八王子市市民活動協議会、八王子市からの情報を毎月初めに発信しています。特に、「巻頭言」では、その時々タイムリーな話題や、広報紙 SUPPORT802 と連動するなど個別の情報発信にとどまらず、興味を持って読んでいただく入口の言葉として位置付けています。

また、個人では入手しにくい市外の多様な活動も知っていただくことで、個人や団体の活動の幅を広げていただくことも期待しています。

#### 【課題と評価】

広報紙 3、4 面で掲載している助成金情報は、メールマガジンとの棲み分けを行うことで、広報紙の紙面構成を考える上である種の割り切りができるなど、広報紙との連動を考慮しながらコンテンツ作成を進めています。一方、メールマガジンというメディアそのものが、どの程度情報発信の面で有効なのか、効果測定を行うことも課題です。(特に Facebook ページとの棲み分けについて)

### (3) 発信情報のチェック体制

#### 活動内容

スタッフ、サポートスタッフの意見を反映しながら、紙面レイアウトを考え、作成しました。

#### 【課題と評価】

連絡体制をサイボウズ Office に段階的に移行しましたが、サポートスタッフの基本操作習熟に特段問題はなく、スムーズな運用が図れていると考えます。

広報部員以外にも、簡単な校正をセンター内で回覧することで、チェック体制を強化することは、検討の余地があると考えています。

#### 【資料】

##### 広報紙 SUPPORT802 発行部数、配布先

1回につき 5,000 部、隔月で年 6 回発行(従来通り毎回奇数月の 1 日に発行)

- ・ 広報紙 SUPPORT802 発行部数

発行号数	発行部数	発行日	配布先
第 84 号	5,000 部	平成 30 年 5 月 1 日	センター登録団体、協議会会員、市の公共施設、市内各駅の広報スタンド、中間支援団体、市内NPO法人、配布希望町会・自治会 その他(八王子町会自治会連合会、八王子老人クラブ連合会、八王子センター元気、八王子レクリエーション協会、紙面掲載団体、他) 北原国際病院、西武信用金庫八王子支店、檜原支店、北野支店、多摩信用金庫京王八王子支店
第 85 号	5,000 部	平成 30 年 7 月 1 日	
第 86 号	5,000 部	平成 30 年 9 月 1 日	
第 87 号	5,000 部	平成 30 年 11 月 1 日	
第 88 号	5,000 部	平成 31 年 1 月 1 日	
第 89 号	5,000 部	平成 31 年 3 月 1 日	

・広報紙 SUPPORT802 主な配布先と配布件数

発行 号数 配布先	第 84 号 30. 5. 1	第 85 号 30. 7. 1	第 86 号 30. 9. 1	第 87 号 30. 11. 1	第 88 号 31. 1. 1	第 89 号 31. 3. 1
センター登録団体	286+ 21(重)	286+ 21(重)	299+ 24(重)	304+ 24(重)	309+ 23(重)	309+ 23(重)
協議会会員(団・個)	103+17	103+17	101+17	101+16	101+15	101+15
市の公共施設	86	86	86	86	86	86
駅の広報スタンド	16	16	16	16	16	16
中間支援団体	56	56	56	56	56	56
市内NPO法人	170	170	170	166	166	166
配布希望町会・自治会	6	6	6	6	6	6
その他	13	13	13	13	13	13
特別配布(アクティブ用)	1	1	1	1	1	1
合計	784	784	789	789	792	792

メールマガジン八王子市民活動支援センターSUPPORT802 発信数

・メールマガジン件数

配信日	4/1	5/1	6/1	7/3	8/3	9/3	10/2	11/1	12/1	1/4	2/1	3/1
配信号数/ 配信先	111 号	112 号	113 号	114 号	115 号	116 号	117 号	118 号	119 号	120 号	121 号	122 号
合計	445	449	450	452	453	460	462	463	525	528	536	543

## 10. 啓発部の活動

今年度も団体活動のステップアップを狙ったパワーアップ講座をはじめとした支援講座や市民の方に市民活動を知っていただくためのアクティブ市民塾など、多角的に市民活動を周知するためのプログラムを実施することができました。

平成 30 年度のセンターの重点項目のひとつである支援センターの認知度をあげることについても、「アクティブ市民塾」や実践講座と通じて貢献できました。

### (1) アクティブ市民塾

#### 活動内容

月日	分野	団体名	タイトル	定員	申込 人数	参加人 数
6 月 29 日(金)	情報	地域 ICT 利活用研究会	ここがポイント!ネットを使いこなすための安全対策	12	33 ※1	18
8 月 17 日(金) ※2	子ども	西緑地科学クラブ	おやつを科学する ～酒まんじゅう作り～	親子 12 組	64 組 149 名 ※2	9 組 19 名
9 月 2 日(日)	福祉	ぶなの会	安心して思いを分かち合う場を体験する ～ひきこもり対話交流会体験～	20 名	17 名	14 名



9月15日(土)	健康	八王子地域活動 栄養士会	時短！簡単！おいしい！レパート リーが広がる常備菜・保存食を使っ たアレンジ料理を作る	16名	8名	7名
11月25日 (日)	健康	プラチナクラブ	保健医療学博士がすすめる健康 寿命を延ばす転倒予防トレーニング 体験	16名	36名 ※3	22名
2月3日(日)	福祉	八王子自助具工房 フレンズ	趣味が他人の役に立つ！物作りが 好きな方必見！自助具を知る、作 る、体験する！	16名	29名 ※4	25名
合計6回開催						105 (161)

※1:抽選はなし。締切後の申し込みのため、お断りした人数を含みます。

※2:台風接近のため当初予定していた7/28は中止。その後、講師団体、会場など調整のうえ、8/17(金)に振替実施を決定。7/28参加予定者のみに連絡して実施しました。

※3:抽選実施

※4:会場のレイアウト変更等により申込者全員を受け入れ、抽選なし。

※5:合計の()は昨年度の合計参加人数

### 【課題と評価】

今年度から定員の少ない講座については「広報はちおうじ」に掲載する際の条件として、定員を上回る申込があった場合は抽選を行うことになりました。6回開催のうち4回は定員を上回る申込をいただき、2回は抽選を実施しました。申込方法や抽選結果のお知らせ方法など試行錯誤の1年でしたが、来年度も多数の申込をしていただけるよう団体の魅力的な側面に焦点を当てた講座を企画していきます。

## (2)実践講座1

### 活動内容

月日	タイトル	講師	定員	参加人数
7月1日 (日)	NPO 法人設立の基礎	認定 NPO 法人シーズ・市民活動 を支える制度をつくる会 代表理事 関口宏聡さん	50	53

### 【評価と課題】

定員を上回る方に参加していただき市民の NPO 法人についての関心の高さに応えることができました。NPO という言葉だけは聞いたことがある市民がその意味を正しく理解する、任意団体が活動の継続や強化を図るために法人化を目指すきっかけとなる講座を提供することができました。

来年度も市民が社会貢献活動に関心をもつきっかけとなるような講座を企画していきます。

## (3)支援講座1

### 活動実績

開催日	テーマ	講師	定員	参加人数
4月8日(日) 13:00~14:30 15:00~16:30	改正 NPO 法対応定款 変更 徹底解説セミナー	認定 NPO 法人シーズ・市民活動 を支える制度をつくる会 代表理事関口宏聡さん	20名	1回目 14団体18名 2回目 8団体9名
			計	22団体27名

※申込多数のため2回実施

### 【評価と課題】

今年度は、10月に改正NPO法が全面施行されることに伴い定款変更が必要となったため、NPO法人向けに注意喚起と実際の対応方法を知らせるために講座を実施しました。全面施行から逆算し、新年度早々の開催となりましたが、定員以上の反響があり2回に分けて実施しました。この内容は支援セ

ンターならではの講座であり、法人団体にとって効果的な講座となりました。

#### (4) 支援講座 2 (NPO パワーアップ講座)

##### 活動内容

	開催日	タイトル	講師	会場	参加人数
1	8月10日(金) 13:30~16:30	団体のビジョンとミッションを明確にする	長浜洋二さん(モジョコンサルティング 合同会社代表)	クリエイトホール 第2学習室	29名 (11名) ※1
2	8月24日(金) 13:30~16:30	活動目的とロジックモデル(目的を達成するための設計図)の作り方1	長浜洋二さん(モジョコンサルティング 合同会社代表)	クリエイトホール 第7学習室	31名 (10名)
3	9月14日(金) 13:30~16:30	活動目的とロジックモデル(目的を達成するための設計図)の作り方2	長浜洋二さん(モジョコンサルティング 合同会社代表)	クリエイトホール 第2学習室	30名 (10名)
4	10月12日(金) 13:30~16:30	団体運営の基本1	長田英史さん(NPO 法人れんげ舎代表 理事)	学園都市センター 第5セミナー室	24名 (5名)
5	11月9日(金) 13:30~16:30	団体運営の基本2	長田英史さん(NPO 法人れんげ舎代表 理事)	学園都市センター 第5セミナー室	27名 (5名)
6	12月9日(日) 13:30~16:30	NPOの広報と地域メディアの活用	長田英史さん(NPO 法人れんげ舎代表 理事)	クリエイトホール 第2学習室	35名 (6名)
7	1月20日(日) 13:30~16:30	人が集まる講座とチラシの作り方	坂田静香さん(NPO 法人男女共同参画 おおた理事長)	クリエイトホール 第2学習室	52名 (4名)
8	2月17日(日) 13:30~16:30	NPOを支えるお金1 ~資金調達入門と会員制度・寄付~	小堀悠さん(NPO 法人 NPO サポートセンター 事務局長)	学園都市センター 第5セミナー室	29名 (3名)
9	3月10日(日) 13:30~16:30	NPOを支えるお金2 ~助成金~	小堀悠さん(NPO 法人 NPO サポートセンター 事務局長)	学園都市センター 第5セミナー室	21名 (3名)

※1()内はセンタースタッフの参加人数

##### 【課題と評価】

今年度も11団体に連続受講をしていただきました。活動目的をテーマとした講座については、パワーアップ講座の中で団体内のディスカッションができるように3回にわたりじっくりと実施しました。その結果、各団体が成果物を作成することができ、受講団体にも好評でした。

また、パワーアップ講座をセンターの研修として位置付け、センタースタッフ全員で支援センターのビジョンやミッションを検討することもできました。来年度も団体の組織基盤強化を目指して講座を企画いたします。

#### (5) 支援講座 3

##### 活動内容

(1)交流会:6月6日(水)18:30~20:30

テーマ	日程	会場	備考
学生と地域のつながり	6/6(水)	八王子市市民活動支援センター	広報部と共催 市内学生同士の交流会

※参加学生は、八王子学生委員会5名、創価大学オックスファムクラブ(国際協力団体)1名。

### **【課題と評価】**

広報部との共催により、支援センターでは馴染みの少ない学生を対象とした交流会を実施することができました。SUPPORT802 の連載企画の第 2 弾としての開催であったこともあり、今回は広報部主導で実施しました。支援センターの総合力を発揮するために今後も他部との共催を進め、企画のはじめから積極的に参画していきたいと考えます。

## **11. 情報部の活動**

### **(1) インターネットにおける情報発信システムの構築**

インターネットにおける情報発信システムとして、八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」と、支援センターの情報を発信する支援センターホームページ、それを補完する Facebook ページと Twitter を運用しています。

平成 30 年度は支援センターホームページの脆弱性をなくすべく、サーバー移転および SSL 化の対応を行い、インターネット上の情報発信において、市民が安全に充実した市民活動情報を得られる仕組みを構築しました。

### **(2) センター内 ICT 環境の整備**

支援センター内の情報共有、情報伝達を効率化するため、またセキュアな環境でそれらが行えるようにするため、グループウェアのサイボウズ Office を導入しました。スタッフのスケジュール調整、出退勤管理、会議資料の共有などの業務で大幅な効率化を行いました。

また、故障や性能問題を抱えていたスタッフ PC8 台の修理および性能面での整備を行い、新たに PC を買い替えることなく経費節減することが出来ました。Windows7 機の Windows10 化も合わせて進めています。さらに、センター内 Wifi のセキュリティ脆弱性に対応するため、業者選定と市のガイドラインへの整合性を検討しました。

### **【課題と評価】**

サイボウズ Office の導入により、スタッフのワークスタイルが変わり、密な情報共有ができるようになったと考えます。また保有パソコンは低スペックなものが多く、業務効率化の妨げになり、団体の苦情の原因になっていましたが、設定の見直し、SSD 換装などの強化で新たにパソコンを購入せずに運用可能となりました。これから Windows7 問題、Office2010 問題なども控えており、なるべくコストをかけない ICT 環境の整備を進めていきます。ただ、同様の問題は登録している市民活動団体も抱えていますので、支援センターが手本となるべく率先してトライし、手法を啓蒙していく必要性があります。市民活動団体の IT リテラシーを向上させるのも支援センターの大きな業務になってきていると思います。

### **(3) 市からの指導および要望事項への対応**

ネットセキュリティアラート J-LIS 情報に対応するとともに、関係スタッフへの啓もう教育を実施しました。

### **(4) 支援センターホームページの維持・更新**

八王子市から稼働するサーバーの OS およびミドルウェアの脆弱性が指摘されたため、安全性の高いサーバーへ移転を行いました。併せて通信の盗聴および改竄に対応するため SSL 化しました。またメールサーバーの移転も実施しました。サーバー移転に関しては、市民への影響を最小限にする移行手順を策定し、メール不達の現象が発生した以外は大きな問題もなく移行できました。また、これまで使っていた愛称「さぼーと 802」の表記を分かりやすい「八王子市市民活動支援センター」に変更しました。

### **【課題と評価】**

昨年度の大幅リニューアル改造と今年度のサーバー移転に伴う改良を重ねることにより、一定の完成度レベルまで到達したと考えられます。今後は急増するスマホユーザー向けのモバイルサイト構築が最大の課題ですが、構築費用が必要なこと及び連携するはちコミねっとがモバイルサイト非対応なため、当面、はちコミねっとが次期バージョンでモバイル対応するのに合わせて実施するのが最適と思われます。

### **(5) はちコミねっとの活性化**

- 1) 継続して団体向け操作法講習会を毎月実施しました。しかしパソコンに不慣れな団体も見受けられることから、センタースタッフがマンツーマンで操作方法を教え、情報をアップするところまで付き添う団体向け個別操作法講習会を計画外でしたが月1回の頻度で開催しました。
- 2) 登録団体数も順調に増え417団体となりました。今年度は49団体を登録し5団体が登録削除となりました。メルマガ会員数は608人です。1年間で約730の団体からの情報(コンテンツ)を掲載承認しました。
- 3) 運用で発生した問題の解消や改造要望などを契約当事者である八王子市とパーソルワークスデザイン株式会社とともに継続して対応を検討し、いくつかの改善を実現できました。

#### **【課題と評価】**

はちコミねっつのようなクラウドベースでユーザカスタマイズが可能なシステムにおいては、なかなか不具合の修正や機能追加は実現しませんが、粘り強い交渉でかなりの改善を施せたと考えています。今年度は予算の関係で実現できませんでしたが、講座およびイベントの参加申込フォームの効果が高いため、将来は是非とも実現したい機能と考えています。はちコミねっつのベースとなる「元気365システム」が利用者ニーズに十分対応できないシステムになっているため、次期バージョンがリリースされる際にはモバイルサイト対応を含め、積極的にユーザ要望を出していく必要があります。

#### **(6) Facebook と Twitter の活用**

Facebook ははちコミねっつのメルマガの転載、センター主催のイベントの告知、講座やイベントの実施報告などで活用しました。Twitter は主に若者向けのアクティブ市民塾の告知とはちコミねっつと関連の講座の案内に活用しました。

#### **【課題と評価】**

Facebook を利用している市民への告知効果はある程度求められたが、本格稼働するにはやはり Facebook 広告まで出さないと、十分な訴求はしないと思われまます。また Twitter は様々な内容を含む講座関連の告知には向いておらず、アクティブ市民塾の実施団体と連携した Facebook や Twitter の運用も必要と思われ、今後の課題となりました。計画していた Facebook の認証マークは取れましたが、Twitter の認証マーク取得は Twitter が申請を閉鎖しており、達成できませんでした。

## **12. ファンド部活動**

### **I 全体評価**

#### **(1) 物品支援**

当初危惧していた寄附申し出の減少については、実績ある企業をはじめとし市内の企業・団体・個人から寄附していただき、頒布会などを通じてスタートアップ団体、レイアウト変更予定の団体等に什器類を提供することができました。これまでの企業訪問の結果が今年度の寄附に結び付いた事例もあり、継続した企業訪問の必要性を実感しました。

#### **(2) 人財支援:**

昨年に続き、認定NPO法人サービスグラントとの助言・指導を受け知識・ノウハウの習得に努めました。

- 1) プロボノ1Dayチャレンジに2団体及びプロボノワーカー3名が参加、支援センターはオブザーブを担い、プロジェクト進行ノウハウを習得できました。中でも、知識・技術・スキルを超えて社会貢献意識の高いプロボノワーカーの素顔に触れたことは今後のプロボノワーカーの発掘・確保のポイントと感じました。プロボノ1Dayチャレンジに参加したIT系の2名の方に登録していただくことが出来ました。期首から進めていた、カシオ労働組合との協働は、先方事情(職長異動)により中断しました。

後任の書記長からは、4月以降にできる範囲で地域貢献、プロボノ人財支援等について協力していきたいとのことで、今後可能性を検討していきます。

2) プロボノ説明会講演等、説明会を開催し、約 50 名に参加していただきました。

3) 成果発表会は見送りました。次年度のプロボノ説明会で実施の予定です。

4) 支援団体:

① プロボノ支援団体募集・プロボノワーカー募集・物品提供案内のタイミングに合わせてファン部レポート(不定期)を4回発行しました。

② 相談事業をはじめ、センターの他の事業との連携については、直接人財支援に結び付く事例はありませんでしたが今後とも継続していきます。

### (3) CANPAN登録・更新支援

登録更新説明会を中心に新規登録 5 団体、更新 2 団体をサポートしました。この結果、ゆめおりファン登録団体は昨年度 51 団体から 55 団体に増加しました。団体情報開示レベル★★★は昨年度 7 団体から 10 団体に増加しました。

### (4) 規定類、帳票類の継続的見直し

### (5) 広報活動

#### 1) 企業アンケート

50 企業を対象にアンケート調査をした結果、

・地域社会活動を支援している企業は 61% その他社会参加している企業は 8%、両者合わせて 7 割弱の企業が何らかの形で社会貢献に関心を持っていることがわかりました。

・また、最近解禁されつつある社員等の兼業・副業については推奨すると答えた企業が 30%とまだ少ないが、人生 100 年時代へ向かう中、今後増えてくると思われます。

・兼業・副業を推奨している企業は、変化するためにはイノベーション創出が不可欠で、その源にある多様性を引き出すためにも社外での経験が必要になると考えていることがわかりました。

・企業の寄付を含めた社会貢献の前提として、団体活動の信頼性を担保するための情報開示は不可欠であると考えていることも明確になりました。

2) ファン部レポート: ゆめおりファン登録団体のみならず未参加の団体に対し、支援のタイミングに合わせた以下各号のテーマの情報提供ができました。

① H30.7.1: CANPANについて/物品の支援の流れ/最近の物品支援の活用状況/人財支援について(「プロボノ査閲明快:NPO・団体のお困りごと解決!!」)

② H30.9.1: 「東京ホームタウンプロジェクト1dayチャレンジ」参加決定/ボードマッチ計画/プロボノ@八王子2018説明会/物品支援

③ H30.11.1: 「東京ホームタウンプロジェクト・プロボノ1dayチャレンジ 2018」/物品支援/ゆめおりファンに登録しませんか!

④ H31.1.1: 「プロボノワーカー情報交換会」報告/プロボノ@八王子2018(中期:11月~2月)課題を募集中!!/ゆめおりファンに登録しませんか/企業アンケート行いました

### (6) 団体・企業・大学訪問

1) 団体訪問は 12 回、団体来館打合 16 回(プロボノ)、企業訪問 20 件(含サービスグラント、プロボノ大会参加等)、大学訪問 3 件

## II. 物品支援

### 活動内容

寄付: コーユーレンティア(株)の仲介、数年前にPR活動で訪問した企業、ロコミからの医療関係、2 度目の大学、団体、個人からと多岐にわたって寄付いただきました。

提供: テーブル、椅子、PC、事務用品、家電製品、インテリア、食器、ノートなどをサロンめじろ台、川口ブラボークラブ、高尾山とんとん昔話語り部の会、八王子わん♡にゃんクラブなど多様な団体への物品提供ができました。ベネッセ子供基金がノート寄附の情報に対応すべく、ゆめおりファン事業のプレゼン資料を送付したところ、1000 冊のノートを寄附いただき、子供食堂、福祉施設等に提供できました。大学からWINDOWS7PCを寄附いただき全数提供いたしました。

### 寄付・提供件数

寄付件数は 15 件(平均 10.8 回) 提供件数は 33 件(平均 27.4 件)

## 寄付・提供数量

寄付数量は 368(平均 286) 提供数量 247(平均 223)

### 【課題と評価】

新規寄付元企業開拓、寄付実績のある企業への広報活動ができなかったこと、また、物品提供後の利活用報告書を十分回収できなかったこと、団体の物品ニーズに十分応えることができなかったこと等が反省点として挙げられます。

そうしたことから、次年度から、訪問先を絞り込んだ年間計画を立案実行するとともに、寄付者への説明責任を果たすため、利活用報告書を含めセンター広報誌、ファンド部レポートなど定期的に送付し情報提供に努めます。

また、団体のニーズに十分対応するには、企業からだけでなく市民からの寄付も必要となりますが、個々の市民からの提供にどこまで対応でききるかや品質確認、所有権移転、事故対応、廃棄物対応方法、誤用を避けるための製品仕様書の確保など検討すべき課題があります。

## Ⅲ. 人財支援

### 活動内容

#### (1)プロボノ説明会

- ・基調報告:「プロボノとは」認定 NPO 法人サービスグラント代表理事 嵯峨生馬さん
- ・事例発表:団体:「緑サポート」、「八王子猫のおうち探しの会」、「エコショップ元気広場」  
プロボノワーカー:中村さん 企業:カシオ労働組合書記長

#### 準備・広報活動

「団体向け」チラシ、「ワーカー向け」チラシを作成し、市の機関をはじめ、企業への郵送(19 社) ネット媒体も活用しました。

ネット:Peatix、支援センターHP、はちコミねっと他

新聞:よみっこ、朝日マリオン、もしも新聞などに掲載

大学:創価大、首都大

メール:既プロボノ登録者や志民塾OBへの配信

#### (2)「東京ホームタウンプロジェクト1dayチャレンジ」

##### 1)応募団体

11 団体を対象に応募是非を検討し、次の 2 団体に内定、サービスグラントに申請書を提出しました。

① NPO 法人かたつむり、課題は会員管理 ②サーカス、課題は SNS の利活用環境整備

##### 2)「プロボノ@八王子 2018 説明会」は7月7日に開催し、参加者合計 44 名(うち一般の団体14、発表者7名、スタッフ6名)

##### 3)ワーカー確保

登録ワーカー24 名を中心にワーカーを募りましたが、結果は 3 名でした。そこで、サービスグラントに協力を頂き八王子登録ワーカー3 名を加えた混成チーム編成での対応も必要となりました。具体的には、「NPO 法人かたつむり」は支援センター・プロボノワーカー登録者3名に加えサービスグラント登録者から2名、「サーカス」は全員サービスグラント登録者7名でチームが編成されプロジェクトをすすめました。

##### 4)事前オリエンテーション

「NPO 法人かたつむり」、「サーカス」を含め 13 団体、プロボノワーカー約 80 名が参加しました。主催者は東京都福祉保健局、事務局は認定 NPO 法人サービスグラントですが、支援センターも協力団体として評価していただき、八王子市市民活動支援センターの認知度向上にも寄与することが出来ました。

##### 5)成果物納品

全体の成果報告会でプロボノワーカー約 60 名が発表し、いずれも充実感を訴えた素晴らしい内容でした。NPO 法人かたつむり、サーカスの参加はもとより、支援センタースタッフも 3 名が参加のほか、八王子市協働推進課とサービスグラントにオブザーブしていただきました。

## 6) 振返り

参加者に対して後日連絡をできるような工夫が必要 / 体験談発表に時間がかかりすぎる / 束縛時間や交通費などワーカーの負担も含め検討が必要 / 説明する必要がある / 会場配置の工夫 / 相談時間をしっかりと確保などに課題を感じました。

ワーカーのスキル・積極性・協調性・責任感の4拍子が揃ったプロボノであり、事務局運営でも多くのものを学ぶことが出来ました。また、今回得られた成果物の中には、他の団体にも参考となるものがあり、将来に繋がる可能性の多い多いプロジェクトでした。

### (3) 中期プロボノ

#### 1) 支援候補団体

「東京パイロットクラブ (HP作成)」と「NPO 法人異文化健康支援センター (HP作成)」の2団体から支援依頼を受けました。その他、「NPO 法人なみき福祉会」と「NPO 法人難病ネットワーク」も検討しましたが、結果として「東京パイロットクラブ」となりました。その他、「八王子わん♡にゃんクラブ」からHP制作支援依頼があり、現在、ワードプレスによるHP制作中です。

### (4) プロボノワーカー情報交換会

人財支援事業の活性化、プロボノワーカーの参加意欲の向上等を目的に今年度も八王子市協働推進課の参加も得て情報交換会を開催しました。

## IV. 団体情報開示の支援

5 団体が新規登録し、2 団体が解散し登録抹消し現在 54 団体となっています  
川口ブラボークラブ / 高尾山とんとんむかし話語り部の会 / 高尾山の花名さがし隊 / NPO法人ヘルシーライフプロモーション / 八王子わん♡にゃんクラブ  
(登録抹消: NPO法人ひざしひろば / NPO法人ライフステージst・こころ)

また、CANPAN 登録・更新説明会を下期に 6 回予定し、申込団体ゼロもあったので実際は 4 回実施、参加団体は 6 団体でした。CANPAN 情報開示レベル★★★以上は 8 団体でした。

協議会新年交流会(1月26日)で、社会福祉法人落の会、一般社団法人チャイルドライフ、スペシャルオリンピックス日本・東京の3団体に「ゆめおりファンド認証盾」を贈呈しました。

### 【課題と評価】

登録中の団体でも精査すれば活動中止中の団体がある可能性もあり、今後、確認が必要と考えています。また、CANPAN 登録・更新説明会の参加者が少ない、 / CANPAN 情報開示レベル★★★以上が増えない等の課題について今後とも引き続き問題点を整理し、検討を加えていきます。

## 【3】協議会自主事業

### 1. 総務部・事務局

協議会は支援センター管理運営のほか、様々な活動を行っています。直接担当する理事勉強会、新年交流パーティーに加え、わくわく広場、オトパ等を後方支援しました。

#### (1) 会員管理

平成30年度は、前年度に引き続き会費回収などの会員管理強化を行いました。月単位での集計を標準化し、実態に沿った体制にしました。会費未納会員は当年度も多数発生しています。対応として年間3回文書で督促しています。3月には電話でも督促しています。原則として2年未納の方は本人に確認し退会処置をとっています。協議会を知っていただくために、オトパ、はちおうじ志民塾、シンポジウム等でPRしていますが、なかなか会員増につながりません。

#### 会員数の推移

	29年度末	30年度末
団体正会員	69	69
個人正会員	57	57
賛助会員	47	47
協力会員	27	29
合計	200	202

## (2) 新年会員交流パーティー

平成 30 年度は 1 月 26 日(土)の午後前半感謝状贈呈を主にした式典、後半パーティーという企画で開催しました。昨年参加者 80 名に対し、今年も 77 名と昨年同様の盛会でした。参加者には、石森八王子市長をはじめ都議会議員、市議会議員や行政関係者、団体、個人会員など、様々な分野の方に参加して頂き、それぞれの情報交換ができ、協議会の特色のある交流会となりました。

恒例となった連続 10 年会員在籍者への感謝状贈呈対象は、4 団体 3 個人でした。また、わくわく広場において戴いた寄付金を基に、市民活動団体支援金として「小中学生の勉強を考える会」に支援金を贈呈いたしました。多額寄付者 1 名にも感謝状を贈呈いたしました。

さらに当年度は新たに、長年にわたり協議会を資金面で支援して頂いた西武信用金庫、多摩信用金庫の両金庫様に感謝状を贈呈いたしました。

## (3) 西武信用金庫助成金の窓口

30 年度も第 6 回西武街づくり活動助成金の受付・推薦窓口を受託しました。申請申し込み団体が 6 団体ありましたが、申請資格などの審査を経て協議会から 3 団体を推薦いたしました。当年度は、全体でも応募が多くありましたが、2 次選考を通過した団体は甲乙つけがたいということで協議会で推薦した 3 団体すべてが助成対象に採択されました。この窓口業務は協議会にとっては NPO の様々な活動内容が把握できる貴重な場となっています。

## (4) 女性・若者・シニア創業サポート事業(女若シ創業サポート事業と略す)

女性・若者(39 歳以下)・シニア(55 歳以上)の創業者に対して、東京都は 18.8 億円(平成 30 年度)の原資を信用金庫・信用組合に預託することで、創業者に有利な条件での融資を実行する事業を推進しました。協議会は「地域創業アドバイザー」としてかかわっています。当年度は 3 月に初めて説明会セミナーを開催しました。評価面談 5 件、融資実行 2 件、ハンズオン支援延べ 14 回実施しました。前年に引き続き外部専門家スタッフとして協議会と関係の深い著作権推進会議メンバーに本事業のまとめ役をお願いしています。

### 【課題と評価】

総務部・事務局は直接担当するイベントに加え、協議会が行う様々な事業を後方支援しました。しかし、事務局を担っていただけるスタッフの確保が難しくなり、事務局の負担が増加しています。

女若シ創業サポート事業では、外部の専門家(行政書士)をスタッフとして協力いただき、業務を効率化しました。

会費未納者の管理を厳密に行うようにしたので、退会する会員が発生しています。当年度は前年度に比べると若干増やすことができましたが、協議会の存在意義を周知徹底し、退会者をなくすとともに新規会員を増員する工夫が必要です。

## 2. 広報部

広報誌とホームページで市民活動協議会の活動を紹介しました。

### (1) 協議会だより

協議会だよりは隔月(2、4、6、8、10、12 月)で 6 回各 1800 部を発行しました。会員向けの発送の他、八王子市内公共施設で配布するほか、登録団体のイベントや個人病院や個人店にも配布の協力をいただきました。

各号でイベントの参加者や助成金受給団体のコメントを積極的に掲載し、協議会登録団体の活動チラシを発送時に同封しました。個人や団体からの原稿をいただくことにより、協議会をさらに身近に感じていただけるような紙面作りを心がけました。

### (2) ホームページ

ホームページはトップページから各事業ページにリンクし、リアルタイムに情報が更新されました。協議会だよりでは紙面が限られて紹介できなかった内容も、写真を多用し活動内容をわかりやすく紹介して閲覧者に興味を持ってもらえるページとなりました。



## 【課題と評価】

協議会だよりの内容が例年固定化し、ホームページを活用する会員が増え紙媒体での発信に加え近年ではホームページの充実にも心がけました。市民活動支援センターで発行する広報紙 SUPPORT802 とイベントや助成金などの内容が重複する部分があり、差別化するための独自内容や協議会登録会員の情報発信に更に役立てるような紙面づくりが課題となりました。

協議会だよりの発送時に会員団体のチラシの同封を開始し、ご利用いただいた団体においてはご好評を頂きました。

## 3. 交流推進部

### (1) お父さんお帰りなさいパーティー(略称オトパ)

平成 30 年度も 9 月に南大沢、3 月に労政会館と 2 回オトパを開催しました。オトパ in 南大沢は多摩地域のメンバーを中心とした実行委員会で企画運営しています。テーマは「多世代で地域をつなぐみんなの集い」。雨天で来場者は去年より 20 名ほど少なかったですが、子どものためのワークショップを多く用意したため、子連れ的女性が多かったです。交流会でひなげしのリユース食器を使う、チラシでフードドライブを告知するなど環境に配慮した催しも意識しました。

「きっと見つかる！新しい仲間～地域の活動博覧会」をキャッチコピーとした第 22 回オトパは約 200 名の来場者でした。労政会館オトパの目玉「ガイドツアー」は今回 3 団体がスクラム組んで準備実践して参加者の案内もスムーズにできました。また創価大学の学生による無料コーヒーサービスは大変喜ばれました。告知手段をいろいろ工夫して新規出展団体も増え昨年を越える参加者を迎えました。

## 【課題と評価】

南大沢オトパは子ども育成世代が多いという南大沢スタイルが確立してきましたが、シニア世代を増やすという課題は解決できていません。労政会館は前回の反省を踏まえて、多様な配布先の協力を得てチラシやポスターを店舗に置いてもらい参加者の増加を図りました。

### (2) 井戸端サロン

市民活動団体のネットワークづくりを目指し、まずは自由に思いを語ってもらおうと事業名も「井戸端サロン」と変え 8 月 25 日に第 1 回を開催しました。15 団体 24 人の参加がありましたが、長年活動している団体が多く、仲間や跡継ぎや利用者を紹介して欲しいと言った具体的なニーズを求めていることがわかりました。そこで第 2 回は「人を集めるためのワークショップ」を開催。参加団体は 4 つでしたが、具体的な話が聞けて団体に利用できると好評でした。

## 【課題と評価】

ここ数年休眠状態であった「井戸端会議」を名称も「井戸端サロン」と変えて 2 回開催しましたが、井戸端会議を始めた 10 数年前と違い、各団体の活動もニーズも多様化しているので別の形の事業として受け止めることが必要と思われれます。

### (3) 第 39 回八王子いちようまつり「わくわく広場」(11 月 17 日・18 日)

平成 30 年 11 月 17 日・18 日長房市民センター及び河川敷の F 会場にて「わくわく広場」を開催しました。F 会場の参加スタッフ延べ 180 人、観客約 3000 人。参加団体 31 (新規団体 2 団体)。

両日ともに天候に恵まれ、活動しやすい 2 日間でした。今年から会場が増えたため来場者数は例年よりも少なく、会場内の混乱も緩和されました。体験コーナーは大人から子供まで人気があり、市民参加のイベントとして今後も増やしていきたいと思えます。長房市民センター内の和室休憩コーナーは、休憩や授乳室として広く認知されておりいつも賑わっていました。

## 【課題と評価】

反省点としては、いちよう祭りの一環なのでお祭りの要素が強いのは致し方ないですが、市民活動団体の実行委員会方式で運営した会場なので、実行委員の役割や実行委員会のあり方についてルール決めをする必要があります。

今年度はリサイクルバザーや参加団体の特性から車椅子での来場者が非常に多く、長房市民センターの駐車場が大変混雑しました。車の出入りには不便ではありますが、三角ポールなどで入り口の管

理をしっかりとする必要があります。

#### 4. 地域ネット部

「活き生きハンドブック」のデータ更新を予定していましたが、技術的な問題が発生し、必要最小限の更新しか出来ませんでした。今後も対応を継続します。

地域の課題を考えるシンポジウムは一般社団法人八王子自治研究センターと共催で「市民活動とまちづくり—共生社会を考える」と題し開催しました。地域資源を新しい観点からとらえるため、事前の研究会でしっかり準備し実施しました。生活協同組合、社会福祉協議会など身近な資源を機能面で見直し、もっと有機的な連携を考える新しい提案ができました。

##### 【課題と評価】

活き生きハンドブックのデータ更新は今まで WAM 助成金を利用し行ってきましたが、助成金がなくなった2019年度では、問題が発生した場合の対応が難しいことを実感しました。シンポジウムの開催は事前研究会の実施で新しい形のシンポジウムが開催できました。

#### 5. 政策研究企画部

平成 30 年度から、政策研究部は政策研究企画部と名称を変更し、従来の研究するだけの活動から企画立案する部として活動を開始しました。また従来は協議会の自主事業の要素が強く、センター事業との関連が明確でありませんでした。平成 30 年度から「センター事業の発展のため」に協議会としての政策を研究し、企画につなげていくことを目的としてきました。一言で言えば、協議会やセンター事業の「見える化」を目指した1年間でした。政策研究部としての活動の取り組みとして PDCA サイクルを実施していくことで、まず目標となる PLAN を設定することが中心となりました。具体的には、政策研究部会としてセンター事業を理解するために、2つの方向性からのアプローチをしてきました。1つは、センター部会への参加、もう一つは他市市民センターの視察、でした。

##### (1) 理事会活動の深化(理事会および三役会の議事報告の迅速化・見える化)

従来は理事会の議事録は1か月後に配布されてきました。さらに、会議の内容が不明瞭な点があるという意見もあり、課題を解決するための一助として、毎回の会議中に議事メモを作成し、会議終了直後にメーリングリストにてこれを配布するという迅速化を実施しています。また三役会においてはその議事内容が理事に公開されておらず、これも改善し、見える化と情報伝達の迅速化を実現しました。

##### 【評価と課題】

評価としては、理事会・三役会の議事内容の伝達の迅速化が実現できました。また従来の会議進行において、議題と報告が混在し、報告事項にもかなりの時間を要していたため、議題に対して十分な議論ができないケースがありましたが、これを議題優先、報告は簡潔にというスタイルに変更できつつあります。これにより、理事会参加理事は当日の議事内容の再確認ができ、欠席理事にも迅速に議事内容を伝えることができるようになりました。

また従来は議事録さえ公開されていなかった三役会については、三役会にて議事録の公開を提案し、了承されその後継続的に議事録が理事メーリングリストに報告されています。

##### (2) 他市市民活動センターの視察

政策研究企画部では、センター事業の概要を理解するために元センター長の協力のもと、以下2カ所の市民活動センターの視察を実施しました。

平成 30 年 10 月 25 日(金) 14:00~16:00 に「さがみはら市民活動サポートセンター」の視察を理事長他 5 名で視察してきました。もう1カ所の「三鷹市市民協働センター」は平成 30 年 11 月 15 日 15:00~17:00 に理事長をはじめとする4名の理事の参加にて実施されました。八王子市市民活動支援センターの運営に参考になる点も多く感じられました。

##### 【評価と課題】

当初は理事研修として、首都圏周辺の中核市を中心とした市民活動センターの視察を検討していま

たが、種々の理由により、2か所の視察が実施できました。八王子市市民活動支援センターですぐにでも実施できる改善点もあり、非常に参考になりました。しかし視察か所が2か所にとどまったり今後、さらに他市市民活動センターの視察を継続していく必要があります。

## 6. プロジェクト

### (1) はちおうじ志民塾

地域で活躍、活動する担い手を育成する「はちおうじ志民塾」は、2月に第10期の塾生21名が卒塾し、志民塾卒塾生は総勢224名になりました。志民塾OBによる今後の地域での活躍が益々期待されます。

第10期の志民塾は昨年同様、9月開講、2月の卒塾までの半年間で全16回の講座を実施しました。受講生は3つのグループに分かれてグループワークをしたり、自主的に団体を訪問見学したり、卒塾発表に向けての話し合いを重ねたりと沢山の活動をこなし、その間に培われた仲間同士の繋がり、絆も志民塾受講生の宝物になります。今期も市外からの申し込みや問い合わせがあり、「はちおうじ志民塾」の評判も市外、都外に広がっています。また、10期募集を兼ねてプレ志民塾を開催し、卒塾生の活動紹介や講演を行ったことによって志民塾への周知や関心が広がったと感じています。

卒塾生たちは八王子の地域活動の担い手として大きな力になっています。今後も協議会は卒塾生たちの活動を支援していきます。

#### 【課題と評価】

##### ① 学びの内容について

10期を終了してこの10年間の卒塾生は224名となりました。7期終了後に、志民塾が始まった7年前とは社会環境も変化しており、カリキュラムの内容を改める時期ではないかとのことから、8期からは前期・後期に分かれていたカリキュラムを通期にして、7月開講から9月開講にするなど大きな改訂を行いました。それにより、スケジュールも一本化され、受講生も学び易くなりました。その反面、基礎的な内容が多くなり、専門性については物足りないとの声も聞かれます。今後のカリキュラムの改定については受講生からのアンケート結果を参考にしながら、市とも協議を続けていきます。

##### ② プレ志民塾の開催効果

また、9期募集から「プレ志民塾」を開催しています。卒塾生による活動紹介を行い、その後ミニ懇親会で情報交換ができる場所を設けたことにより、志民塾の周知にも役立ったと思います。

##### ③ 今後の卒塾生の動向調査とフォロー

一方で志民塾開始から10年が経ちましたが、卒塾生達がどのような活動をしているかの把握が十分ではありません。今後は卒塾生の活動動向調査や、活動の場の提供、紹介にも一層力を入れて、卒塾後のフォローアップ体制も整えていかなければなりません。

##### ④ 事務局体制の充実・強化

更に市からの委託事業として、塾生が受講しやすいように運営していく事務局としての力量も問われています。現在理事を中心に事務局スタッフが運営にあたり、適時志民塾OBや理事にお手伝いをお願いしておりますが、人員配置をふくめ業務の内容や役割分担なども一層検討していく必要があります。

### (2) 支援センター事業検討プロジェクトチーム

近年の少子高齢化による社会環境の変化や様々な制度の変更に合わせ、中間支援組織に求められるニーズや事業も的確な対応が求められており、市民や団体、行政、大学、企業など地域を構成する様々な関係者が地域を包括的に支える仕組みづくりを進めていかなければなりません。こうした中、最大の事業である八王子市市民活動支援センター事業の指定管理者として、改めて支援センターの効果的で社会環境に対応したサービスを検討、創出し、期待される支援センター事業を進めていくことを目的にプロジェクトチームを立ち上げました。なお、本プロジェクトチームは協議会理事、センタースタッフの約10名という企画運営会議と同じ構成であり、協議内容もオーバーラップするところが多く存在するため途中から企画運営会議との一本化を図りました。

**【課題と評価】**

今後、約 1 年余りをかけて、ニーズ把握のアンケートやヒヤリング等による実態把握と、具体的な事業の見直しや新たな事業の検討を行います。